

# 未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

## 校舎改修工事が始まっています

つばめつばめ 泥が好きなる 燕かな

青垣町出身の細見綾子さんの俳句です。校舎の軒下で今年もたくさんの燕達が巣作りをしました。校舎の工事が始まるから、燕がびっくりしないかな、巣が落ちたりしないかなと心配しましたが、親鳥達はせっせと泥を運び、巣作りに励みました。

今、南校舎の工事が順調に進んでいます。会議室と旧PC室をそれぞれパネルで区切り、理科室、家庭科室、図工室に空調設備を設置しています。北校舎改修工事が行われる2、3学期の間、旧PC室が1年と2年教室、会議室が3年と4年教室、理科室が5年教室、図工室が6年教室となります。子ども達には、窮屈な思いをさせてしまいます。しかし、ピンチはチャンスと言います。何がピンチで、何がチャンスかを職員一同でとらえ、子ども達とともに乗り越えていきたいと考えています。

7月18日、21日には、14時より、北校舎から南校舎への引っ越し作業を行う予定です。引っ越しボランティアに来てくださる方々、暑い中、本当にお世話になります。



## 懐かしい川の思い出

「そう言えば、小学生の頃、夜公民館に集まって、お話を聞いてから蛸を観に行ってたよな。蛸、今から観に行こうや。」

帰省中だった娘達の会話です。5月上旬だったので、もちろん蛸は観れるはずもなかったのですが、小さい頃体験した記憶は、懐かしさと共に、いつまでも心に残るものなのだなあと感じる出来事でした。

私にも小学生の頃の懐かしい記憶として、祖母に連れて行ってもらった川遊びがあります。

毎年、夏休みが始まるとすぐに、大阪からいとこがやって来ていました。そのいとこといっしょに、よく祖母の引くりヤカーに乗せてもらって川に行きました。祖母は、農作業後のビニールを川の水でじゃぶじゃぶ洗いながら、私たちの水遊びにも付き合ってくれました。祖母に教えてもらい、大きなざるを流れに立て、足で水底をかいて「ごりん」という小魚を獲って楽しみました。私達が泳ぎ始めると、祖母は、「そっちは流れが速いから行ったらあかん」「そっちは水が冷たいで」と気をつけてくれました。

私が遊んだ川は、インターチェンジの工事に伴い大きく変わってしまい、例え将来、孫と一緒に遊びに行ったとしても、どこが安全で、どこが危ないか教えてあげられないなど残念に思っています。

今年も、地域の多くの方にお世話になり、川遊びを計画していただきました。川の草刈りから当日まで、子ども達のために本当にお世話になりました。子ども達は、遊びながら川を学び、そして、それぞれの記憶の中に、ふるさとの川はいつまでも残っていくと思います。

2年・俳句教室  
トマトを観察して俳句を作りました  
【わたしのは 4つあかいよ ミニトマト】

